



清潭高校が3年連続の枕崎合宿を実施

■ 1月13日から2月13日の間、韓国の清潭高校野球部が市営野球場で3年連続の枕崎合宿を行いました。1月14日に開催した歓迎セレモニーでは、実りある合宿を祈念し、市や本市水産加工組合が冷凍かつおやかっぱックなどを贈りました。



「勉学の道」歩こう会を開催

■ 1月25日に開催され、約80名が参加しました。参加者は、桜山小学校出身で玉川学園創設者の小原國芳先生が通学した久志から桜山小学校までの道約12kmを歩きました。



指宿枕崎線シンポジウムを開催

■ 1月25日、指宿市ふれあいプラザなのはな館で、指宿枕崎線シンポジウムが開催されました。まちの再生についての講演のほか、高校生・NPO法人の取り組み発表やトークセッションが行われ、登壇者や参加者の活発な意見交換が行われました。



人権擁護委員が人権啓発活動を実施

■ 2月9日、生涯学習フェスティバルの開催に合わせ、会場の市民会館で人権啓発活動が実施され、人権擁護委員等が来場者への啓発チラシやグッズの配布を行いました。



鹿児島ユナイテッドFCコーチに楽しく学ぶ ～明治安田 枕崎営業所 Presents サッカー教室を開催

1月18日、深浦グラウンドで「明治安田 枕崎営業所 Presents サッカー教室」が開催され、市内小学生約30名が参加しました。

本市との包括連携協定に基づき、明治安田生命保険相互会社の地域貢献活動の一環として開催した今回のサッカー教室では、鹿児島ユナイテッドFC普及スクールグループのコーチが指導にあたりました。いつもの練習と違い、ボールを使いながらの鬼ごっこや、ボールを2個使ったミニゲームなど、楽しみながらもボールやスペース、他の選手などより多くの情報を捉える練習を行いました。参加した枕崎小学校6年生の加治大志さんは「仲間と協力して戦うことが大事だと思いました。チームで活かしていきたいです」と話しました。



川辺チーム健闘の6位 ～第72回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第72回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月15日から5日間の日程で開催され、川辺チームは総合6位と健闘しました。初日の15日は本市を通過。先頭を走る始良・鹿児島との差が開き、繰り上げスタートとなったチームの選手たちが第8中継所の枕崎市役所前を一斉にスタートしました。

会場や沿道には多くの市民が駆けつけ、選手たちに声援を送ったほか、まくらざきハーモニーネットワーク委員会による茶節や腹皮のから揚げの振る舞いが行われ、大盛況となっていました。地元区間の第8区間を走った枕崎小学校出身の茅野泰介さんは、区間2位の力走で声援に答えていました。



広島の中学生在が枕崎の魅力を感じ！ ～民泊教育旅行で交流体験を実施

1月30日、民泊教育旅行(修学旅行)の受け入れが実施されました。

広島県吉和中学校の生徒37名が枕崎を訪れ、カツオのわら焼き体験やかっぱお節削り体験のほか、昨年度に引き続き太鼓踊り体験などで交流を行いました。また、枕崎市グリーン・ツーリズム協議会では、民泊教育旅行(修学旅行)の受け入れ家庭を募集しています。興味のある方は事務局(Tel.76-1185)までお気軽に問合せください。



新春爽やかに200人快走 ～枕崎かつおランニングDayを開催

1月19日、市営野球場および塩浜総合グラウンドで「枕崎かつおランニングDay」が開催されました。

未就学児を対象に300mのコースを走る「こどんRUN」や年齢ごとに1km、2km、4kmをそれぞれ走る「かつおジョギング大会」、60分間にチームでどれだけ走破できるかを競う「リレーマラソン」と多様な参加スタイルでそれぞれの挑戦を楽しんでいました。競技間には、鹿児島県スポーツ協会の永田智和さんによる陸上教室も開催され、ウォーミングアップのやり方などを学びました。また、まくらざきハーモニーネットワーク委員会による茶節の振る舞いや、枕崎の活性化を目指す団体「まくいち」による餅つき大会なども行われ、賑わっていました。



枕崎に春の訪れ ～「まくらざき春の市2025」を開催

2月9日、市営野球場で「まくらざき春の市」が開催され、枕崎を中心に南薩の特産品などが並びました。

バックスクリーン前のステージでは、吹奏楽やよさこい、ダンスなどたくさんのパフォーマンスで盛り上がり、球場内や球場横駐車場には、飲食や雑貨、自衛隊の展示など多様なブースが並び、市内外から多くの人出で賑わっていました。



最新鋭の新船披露と航海の無事祈る ～有限会社海盛水産「第十六海盛丸」新船披露式

2月12日、枕崎漁港内港で有限会社海盛水産が建造した19トンの型まき網本船「第十六海盛丸」の新船披露式が開催されました。

色鮮やかな大漁旗を掲げて入港した新船が接岸すると、船からの餅投げを待つ人や写真を撮る人で賑わいました。その後、航海の安全と大漁を願い神事が執り行われたほか、祝賀会が開催され、関係者が完成を祝いました。最新鋭の設備を活かし、漁業と地域経済の発展に寄与することが期待されています。